

出演者紹介



講演会講師・シンポジウムコーディネーター

小林 純子

特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ代表理事
災害子ども支援ネットワークみやぎ代表世話人

■子育て中に「子ども劇場」と出会い、子ども関係の活動を開始。1998年米国デラウェア州の大学でNPO研修を受けたことで一念発起、志を同じくする女性10人と「MIYAGI子どもネットワーク」を設立。3年後「チャイルドラインみやぎ」を設立。子育て支援と子ども支援を行う。仙台市指定管理第1号「のびすく仙台」や児童館指定管理にも携わる。東日本大震災発生後はそれまでのネットワークを生かして「災害子ども支援ネットワークみやぎ」を結成、東奔西走の日々。

シンポジスト（五十音順）

斉藤 信三（しんぞー）／冒険あそび場ネットプレーリーダー



■静岡県出身、34歳（11月20日現在）。2012年4月から「特定非営利活動法人プレーパークせたがや」より特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークに被災地支援のために派遣されている。現在、仙台市若林区の6ヶ所のあそび場で活動中。大柄な体格に似あわず、特技はイラスト。あそび場のチラシでその腕を振っている。

佐々木 啓子（すず）／西公園プレーパークの会プレーリーダー



■仙台市出身。保育士という教育現場から子どもと共に生きる「遊び場づくり」に居心地の良さを感じて手伝い始める。2005年から6年間、西公園プレーパークのプレーリーダーを務めた。現在は2歳の息子とプレーパークに通う毎日。乳幼児の親と立ち上げた「お外育児 あおぞら」でも活動中。プレーリーダーという役割を経験したからこそ、やれることを模索中。子どもの遊び環境学習会企画メンバー、仙台市社会教育委員。

田中 雅子（けろ）／NPO法人メイクザハブン め組 JAPAN



■東京都出身。20代は東京の児童養護施設で勤務。その後、海が好きなことから、海の世界教育プログラムを通じて、子どもたちに海の楽しさや素晴らしさ大切さを伝えたくて、NPOに勤務。プライベートでは、釣りや貝採りで食べる分だけをいただき、恵に感謝しながら生きる。震災前までは、山の恵も感じたくて、長野のフリースクールに勤務。子どもたちと自給自足しながら限界集落で生活する。現在、石巻のあそび場を運営中。何もないところから、自分たちであそび場を作って楽しんでいる。「生きる力」と「感謝の心を育んでいきたいと考えている。